

この「校長室便り」は、HPでも配信しています

気仙沼市立津谷小学校校長室だより

よく遊び よく学べ

朝に仰ぐ

命を大切に、夢や志をもってたくましく生きる児童の育成



つ よい子良い子
や さしい子
笑顔いっぱい 津谷小学校

気仙沼市立津谷小学校

校長 菅原 理恵

発行日 令和4年9月13日(火)

津谷っ子あいさつ名人

津谷小学校では、新型コロナウイルス感染症予防対策のため今年度も昇降口で朝の健康観察を行っています。7:30から担当の教員が待機し、子供たちに手指消毒をさせながら健康カードをチェックします。最近感じるのは、夏休み前よりも子供たちのあいさつが「良くなった」ということです。4月から子供たちには、折に触れて「あいさつ」「返事」「適切な言葉遣い」の大切さについて話をしてきましたが、特に「あいさつ」は、

「あ」 明るく 「い」 いつでも 「さ」 先に 「つ」 続けよう

を目標に取り組むことを勧めています。朝、昇降口やときには正門の辺りで様子を見てみると、上に挙げたことだけでなく、「しっかり相手の目を見て」、「立ち止まって」、「お辞儀をしながら」爽やかにあいさつをする「あいさつ名人」がずっと増えていることに気が付き、とても嬉しく思いました。私たち教職員も身近にいる子供たちの「モデル」になるように、しっかり「あいさつ」していこうと話合っています。そういえば、保護者の皆様のあいさつに私たち教職員はいつも「元気」をいただいています。子供たちの優れたモデルはここにあるんですね…。

「あいさつ」は、コミュニケーションの第一歩。「おはよう」のひとつの中に、「元気ですか?」「元気ですよ。」「今日もがんばろうね。」「仲良くしましょう。」という相手を思いやる気持ちも込められている…ということ朝会で話したことがあります。「言葉の力は生きる力」、「言葉」は自分にも相手にも「勇気」を与えてくれるもの(逆も然りです) コロナ禍が続く中、子供たちには、「あいさつ」で明るく1日をスタートさせてほしい、「より良い言葉の使い手」になってほしいと願いつつ、子供たちの「あいさつ」に「ほっこり」している今日この頃です。

明日から修学旅行

明日から6年生がいよいよ修学旅行に出発します。今日は結団式がありましたが、子供たちの態度の立派なことにとっても感動しました。司会や代表の言葉を話す人は、自分で内容ややることを考え、場に応じて機転を利かせながら役割をこなしていました。また、聞いている子供たちも真剣な眼差しで先生方の話を聞いていました。校長室や職員室に迎えに来てくれた子供たちもとても立派で、子供たちの修学旅行にかける意気込みを感じ、明日からの旅行がますます楽しみになりました。43名全員が元気に結団式に参加している様子を見て、心から嬉しくまた、安心しました。前述した「優れたモデル」は、校内では6年生が担ってくれていることが多いのですが、結団式の様子を見て、さすがだな…と改めて思いました。

6年生の保護者の皆様には、子供たちの健康管理や旅行の支度、同意書などの様々な準備をしていただきまして、心より感謝申し上げます。天気予報を見ると、明日の会津若松市はかなり暑くなるようです。感染症対策、熱中症対策を十分行いながら行ってきたいと思えます。



修学旅行の様子は、5年生の野外活動と同様に、津谷小学校ホームページ「津谷小日記2022～うつくし松の下で～」に掲載する予定です。どうぞ御覧ください。

また、各種お便りやお知らせなどもホームページに掲載されています。こちらも併せて御覧ください。